

第3回芸術劇場等指定管理者選考委員会 議事概要

日 時：令和5年1月12日（木）9：30～10：30

場 所：横須賀市役所本庁舎 1号館5階 正庁

出席者：安田委員長、秋岡委員、齋藤委員、白井委員、倉林委員

欠席者：なし

傍聴者：8名

事務局：文化振興課 森、坂本、浦野

-
- ・ 定足数については、委員5名全員が出席し定足数を満たしていることを確認した。
 - ・ 事前に、事業者のノウハウや個人情報等を含む部分について、非公開で選考評価の意見交換を行ったことを報告した。

1 選考評価に関する意見交換について

- ・ 横須賀芸術文化財団の提案について、13項目の評価基準ごとに各委員から発言があった。

「(1) 法令遵守」について

(委 員)

関連法令・条例等を十分理解し、適正な運用を心掛けている。

個人情報保護制度及び情報公開制度を整備するなど、市民への説明責任を果たす義務を負っていることを自覚し、適正に運用しようとする姿勢が感じられる。

「(2) 施設管理」について

(委 員)

これまでの管理実績に基づく安全安心な施設管理の提案となって

いる。

ファシリティマネジメントの観点でも、施設の状態を熟知したうえで施設更新計画を策定するなど、これまでの経験の蓄積を活かした運営が期待できる。

「(3) 利用者への配慮」について

(委員)

規程等を整備し、公平性を確保するとともに、トラブル等に対してもその対応が適切に行われるよう準備している。

利用者アンケートを様々な方法で実施し、その声を反映する仕組みを構築するなど、これまでの実績に基づいた提案となっている。

「(4) リスクへの対応」について

(委員)

設備等の適切な点検の実施を計画するなど、これまでの実績に基づいた計画は説得力がある。

防災面では、災害対応マニュアルを整備するほか、複雑な建物の構造を熟知したうえでのリスク対応がなされている。

昨今の異常気象に対する備えは予測不可能なこともあるので、今後さらなる対応策が求められる。

「(5) 障害者及び男女共同参画への配慮」について

(委員)

障がい者就労施設からの物品購入を実施するなど、適正な配慮・運用が見込まれる。

スタッフの一定の男女比率の確保や、ワークライフバランスに対する理解が見られ、今後も継続運営が期待できる。また、既にハラスメント

防止指針を制定しているなど、ハラスメント防止への取り組みも評価できる。

「(6) 地域貢献」について

(委 員)

地元人材の雇用、市内企業への発注率について一定の水準を確保している。

地元商店街や市内企業との連携を行うなど、積極的な地域貢献が期待できる。

「(7) 人員体制」について

(委 員)

正規職員の雇用も多く、実務経験も豊富かつ、管理運営に必要な資格等を持つ人材も一定程度確保されており、必要な人員体制を構築しているといえる。

その反面、ベテラン職員が占める割合が高くなるので、将来を見据えた人員採用計画の必要も見受けられる。

「(8) 市の基本施策「YOKOSUKA ビジョン 2030」等との一致」について

(委 員)

小劇場の新たな活用方法など若者向けの利用提案や、周年事業における発信力の強い企画など、市の重点施策を意識した新しい提案は特に評価できる。

提案実現のために大手プロモーター等と連携するなど、エンターテインメント事業を進めていくうえで非常に心強いと思わせる提案となっている。

新しい事業については、その継続性など少し読めない部分も見受

けられるので、業務遂行の中でさらなる進化や具体化を期待したい。

「(9) 普及事業（舞台・音楽芸術普及事業）」について

(委 員)

事業内容について、従来から継続されるものや新しい事業の提案がされており、バランスが取れた提案である。

上記(8)の新しい取り組みと共存させることで、幅広い市民層の満足度向上を期待する。

「(10) 育成事業（舞台・音楽芸術育成事業）」について

(委 員)

事業内容について、従来から継続されるものや新しい事業の提案がされており、バランスが取れた提案である。

育成については、一過的な取り組みではなく地道に取り組むことが重要なので、継続性を大事にして事業を運営することを期待したい。

「(11) サービスの向上」について

(委 員)

サービススキル向上を目指し、外部研修をはじめ接客マニュアルの改善に努めるなど安定感のある提案となっている。

キャッシュレスへの対応を進めているなど、今後のサービス向上にも期待ができる。

「(12) 観覧・舞台運営能力」について

(委員)

多種にわたる施策の提案だけでなく、アンケートの顧客満足度において高水準の実績を持つことから、これまでの実績・経験蓄積を活かした鑑賞の場の提供が期待できる。

舞台運営については、当劇場や他館での実績豊富な事業者との連携により安定感の高い提案となっている。

「(13) 指定管理料」について

(委員)

指定管理料の削減を実現している。

削減時の市民サービス維持の課題と関連し、外部資金獲得に向けた戦略的姿勢に期待したい。

2 選考結果について

- ・ 選考結果は、5人の委員の総合計1,100点満点中、903点（得点率82%）となった。
- ・ 最低基準点である総合計660点以上の得点となったため、「横須賀芸術文化財団」が、横須賀芸術劇場及び横須賀市立ベイスクエア・パーキングの指定管理者としてふさわしい団体であると決定した。
- ・ 選考結果を踏まえ、各委員より以下の発言があったため、後日、事務局より指定管理者候補団体に伝達することとした。

(委員)

8年間という長い指定管理期間の中で、その時々的情勢に合わせた対応や提案、計画の進化を期待している。

横須賀の文化・芸術・エンターテインメントの最大拠点としての展開、横須賀市との連携を大いに期待している。

(委員)

劇場があるまちは様々なサービスを市民に発信できるという意味で「豊か」であると思っている。昨今のコロナウイルスの影響で現実的な活動が制限されていた中で、そのことを再定義するような内容が節々に表れている提案であった。

横須賀ならではの提案になっていると思うので、外部資金の確保や様々なパートナーの協力を得ながら実現に向けて邁進してほしい。「YOKOSUKA ビジョン 2030」も新しくできたばかりなので、計画を実施しながら理解を深め、今までのファンの人だけでなく、新たに多くの人たちに活用してもらえそうな展開を期待している。

今後、展開していくうえで、今回のコロナウイルスのように未曾有の危機が起こるかもわからないが、安定した運営体制が構築されているようなので、計画の実現を期待したい。

以上の意見を踏まえ、芸術劇場等指定管理者選考委員会の総評を作成することを確認した。

また、令和5年3月定例議会に指定議案を上程する旨を事務局が説明した。

以上